



がん組織中の薬物動態を可視化し、
臨床試験の早期段階での薬物評価を可能にする画期的技術
日本発の分子イメージング技術を導入した創薬研究システムの実用化
記者説明会 次第

開催日時 2013年12月18日(水) 13時00分～14時00分
開催場所 国立がん研究センター管理棟1階 第1会議室
出席者 国立がん研究センター

理事長	ほった ともみつ 堀田 知光
研究所長	なかがま ひとし 中釜 斉
研究所 臨床薬理部門長	はまだ あきのぶ 濱田 哲暢
研究所 臨床薬理部門	しんま しゅういち 新間 秀一
中央病院 乳腺・腫瘍内科長	たむら けんじ 田村 研治
東病院臨床開発センター 新薬開発分野長	まつむら やすひろ 松村 保広
島津製作所	
代表取締役 社長	なかもと あきら 中本 晃
常務執行役員 基盤技術研究所 所長	よしだ よしかず 吉田 佳一
ライフサイエンス研究所 所長・フェロー	さとう たかあき 佐藤 孝明
ライフサイエンス研究所 産学連携研究室 グループ長	しまだ たかし 嶋田 崇史

1. ごあいさつ

国立がん研究センター理事長	堀田 知光
島津製作所 代表取締役 社長	中本 晃

2. 日本発の分子イメージング技術を導入した創薬研究システムの実用化

中釜 斉

3. 日本発の質量顕微鏡の紹介

新間 秀一

4. 薬物濃度分布を可視化する次世代創薬研究システムの開発

濱田 哲暢

5. 質量顕微鏡の DDS 抗がん剤ドラッグデザインへの応用

松村 保広

6. 抗体医薬品の種類に依存しない血中濃度モニタリング技術の開発(質量分析を用いた血液濃度測定技術)

嶋田 崇史

7. 質疑応答

(会見終了後 見学会を開催します。ご参加される方は会場にてお待ちください。)